

4 月の植物観察

雪が消えてようやく春がそこまで来ていますが、まだ森の木々は冬の装いのままです。よく目を凝らして春を探してみましょう。

1. 八ヶ岳の森で春を告げる花たち

マンサク 2月下旬～4月上旬



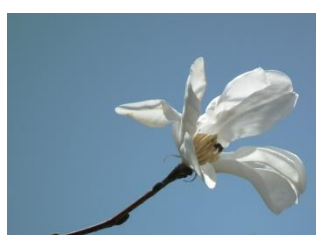
自然の家では春一番に咲く花はせせらぎの森の「マンサクの」花です。早春にまず咲くことから、まんず咲く→マンサクとなったといわれています。

ダンコウバイ 4月中旬～



春を告げる 2 番手はダンコウバイです。黄色の小さな束になった花を沢山つけます。花には独特の強い香りがあります。

コブシ 4月下旬～



ダンコウバイに続いてコブシの花が咲くといろいろな木の芽吹きが始まり森に春がやってきます。

2. カラマツの芽吹き

4 月下旬に八ヶ岳の森で一番多いカラマツの木が芽吹いてくると冬枯れの森が一変、柔らかな春の表情に変わります。

カラマツ



パイナップルのようなカラマツのめ花をこの時期に見ることができます。

3. スプリングエフェメラルと呼ばれる早春の花達

木の葉が茂る前の明るい森の中でいち早く花を咲かせ、種を作ると休眠してしまう植物のことです。所内ではいこいの森でカタクリやニリンソウを見ることができます。

カタクリ



ニリンソウ



4. 八ヶ岳では少なくなってしまった植物

所内には希少植物のサクラソウやオキナグサが大事にされています。生育環境を大事にしつつ絶やさないようにしっかり守っています。みなさんも見つけたらそっと見守ってください。

サクラソウ



オキナグサ



5. 4月に咲く花

フデリンドウ



ヒトリシズカ



ウスバサイシン



5月の植物観察

八ヶ岳の森では5月になるとカラマツの若葉がどんどん成長し、サクラもウメも一斉に咲きはじめて本格的な春がやってきます。日々の変化と標高による変化が楽しい季節です。

1. 山菜採りの季節

春遅いこの地方では、作物が収穫できる前の自然の恵みとして山菜を食材として利用してきました。どんな植物か観察してみてください。

タラノ芽



ワラビ



ギョウジャニンニク



※よく似た有毒植物もあります。不確実なものは食べないように注意しましょう。

ヤマツツジ 食



レンゲツツジ 毒



ニリンソウ 食



トリカブト 毒



2. 桜の季節

標高1200mの自然の家では4月末からようやく桜が咲き始めます。

標高によって咲く時期と種類が異なるので、長い期間楽しむことができます。川崎との季節感の違いを感じることができます。

オオヤマザクラ



マメザクラ



ソメイヨシノとミツバツツジ



3. ハヶ岳の春を植物の香りや味を通して体験してみる。

- ・ギョウジャニンニクをかじってみる。
- ・ヨモギの葉をちぎって香りを嗅いでみる。
- ・サンショの葉の香りを嗅いでみる。

4. 5月に咲く花

スズラン



ズミ



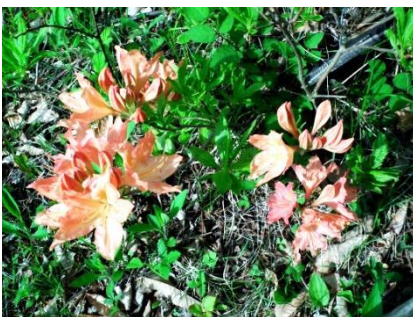
アヤメ



ヤマツツジ



レンゲツツジ



イカリソウ



タチツボスミレ



ヒカゲスミレ



クサボケ



ヤマブキ



ヤマブキシソウ



キリンソウ



6月の植物観察

すっかり緑の濃くなった森ではエゴノキやミズキなど木々の花が咲きだします。梅雨の時期に咲く花の工夫や食べて美味しい実などもあり、雨の中でも楽しい植物観察ができます。

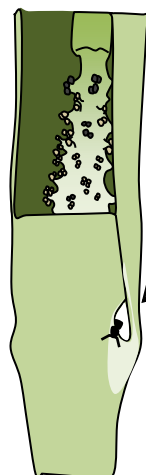
1. マムシグサの花の作りと虫との関係

マムシグサの花を切り開くと雄花から花粉がいっぱい出てきます。雌花の中には小さな昆虫の死がいが入っていることがあります。昆虫を利用して受粉する工夫がちょっと恐ろしく興味深い花です。雌花と雄花は下図の通り、小さな穴が開いているかで見分けます。ヘビのような姿をした毒々しい雰囲気 of 植物ですが、サトイモ科のこの植物には本当に毒があります。

マムシグサ

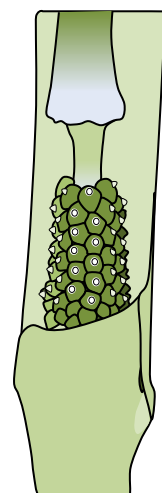


雄花



雄花には大きな出口があります。花を訪れた昆虫は花粉だらけになってここから出てきます。

雌花

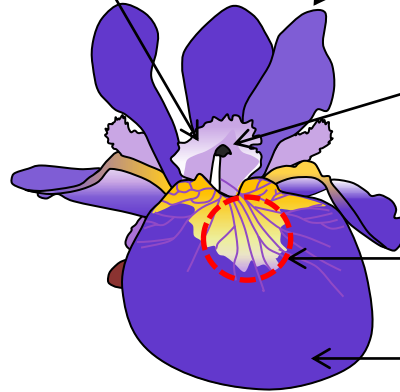


雌花は下の出口が小さくて、昆虫が出口を探しているうちに受粉が行われる仕組みになっています。

2. アヤメの花の作りと虫との関係

①雌しべの一部（花柱）

○の部分から花にもぐりこんだマルハナバチは、背についた他の花の花粉を花柱の先端につけます。奥には雄しべがあり、雨から花粉を守る屋根になっています。



花びら（内花被片）

②雄しべ

次に蜜を求めてもぐりこむマルハナバチの背中に花粉をつけます。

蜜標（みつひょう）

この網目模様は昆虫に蜜のありかを知らせるためのものです。

花びら（外花被片）

アヤメの花の構造は雨をよけながら昆虫を利用して受粉するためのものだわかります。運が良ければ花びら（外花被片）を押し下げてもぐりこむマルハナバチを見ることができるかもしれませんよ！

3. アカマツの雄花と雌花の観察 松ぼっくりの成長の仕方

松にも目立たないながら花が咲きます。風を利用して受粉する植物なので雄花は沢山の花粉を出して花粉症の原因にもなります。雌花は受粉するとやがて松ぼっくりになります。枝先にある小さな赤いかたまりが雌花です。よく知っている大きさになるまでに2年もかかります。



松の木の下をよく見るとリスが食べた跡の「森のエビフライ」が落ちています。

リスは松ぼっくりの間に入っている松の種を食べます。

木の上で成熟したマツボックリは乾燥すると開いて種を風に飛ばします。

4. 味や香りを試してみる。

- ・コアジサイはとてもよい香りがします。ぜひ香りを確かめてください。
- ・イブキジャコウソウをさわってどんな香りが確かめてみてください。野生のハーブです。
- ・ニガイチゴやミヤマウグイスカグラの実には甘くておいしいですよ。ぜひ食べてみてください。

コアジサイ



イブキジャコウソウ



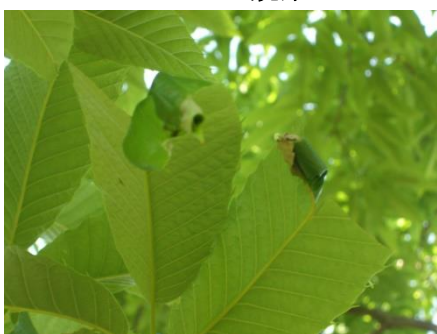
ミヤマウグイスカグラ



ニガイチゴ



5. オトシブミの観察



学習花壇の栗の木の葉には写真のようなオトシブミという昆虫のゆりかご「揺籃：ようらん」がいくつかついています。オトシブミのメスは葉を巻きながら卵を1つ産みます。ゆりかごは外敵からタマゴを守り、孵化した幼虫のえさにもなります。運が良ければ作業中のお母さんオトシブミを見ることができます。

6. 梅雨時はかぶれる植物に注意しましょう。

所内にはさわるとかぶれる植物として、ツタウルシとヤマウルシがあります。木の生育が盛んで蒸し暑いこの時期は特に皮膚に接触しないように気を付けてください。所内ではマレットゴルフ場や敷地周辺の道路沿いに見かけます。

ヤマウルシ



葉の根元の枝が赤い

ツタウルシ



樹木に張り付いて高く登るツル植物



地面に這っている場合もあります。

7. 6月に咲く花

ヤマホタルブクロ



キバナノヤマオダマキ



ハナチダケサシ



ウツギ



7月の植物観察

高原の花が次々と咲きはじめ、見ごろを迎えます。花には蜜や花粉を求めて昆虫がたくさん来ています。それらを観察するのも楽しいですよ！

1. 7月に咲く花

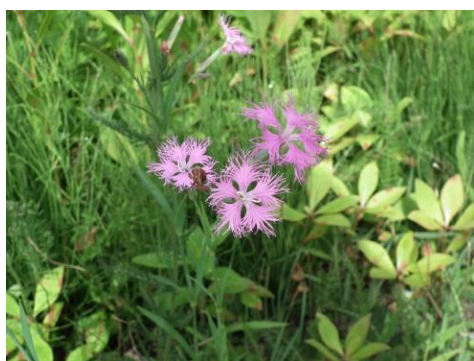
ヤマユリ



オオマツヨイグサ



エゾカワラナデシコ



ヤナギラン



コオニユリ



ユウスゲ



シモツケ



タチフウロ



2. ヤナギランの種

花が咲き終わると、下から順に種ができます。
種は熟すとちょっと触っただけではじけて綿毛が
飛び出し、風に乗って遠くへ運ばれます。
さわってみると面白いですよ！



3. エゾゼミの観察

木の幹や葉の裏にセミの抜け殻をいっぱい見ることができ、時には脱皮間もない成虫を間近に見ることが
できます。エゾゼミは川崎にはない、寒いところのセミです。



8月の植物観察

早くも高原は夏から秋へ移り行く季節です。お盆を過ぎると空気がひんやりとしてきます。夏の花に
交じって秋の花が咲きだし、一年を通じて一番花の多い時期になります。たくさんの可憐な花々を楽し
みましょう。

1. 8月に咲く花

フシグロセンノウ



ママコナ



マツムシソウ



シラヤマギク



ツリガネニンジン



ワレモコウ



ノハラアザミ



コバギボウシ

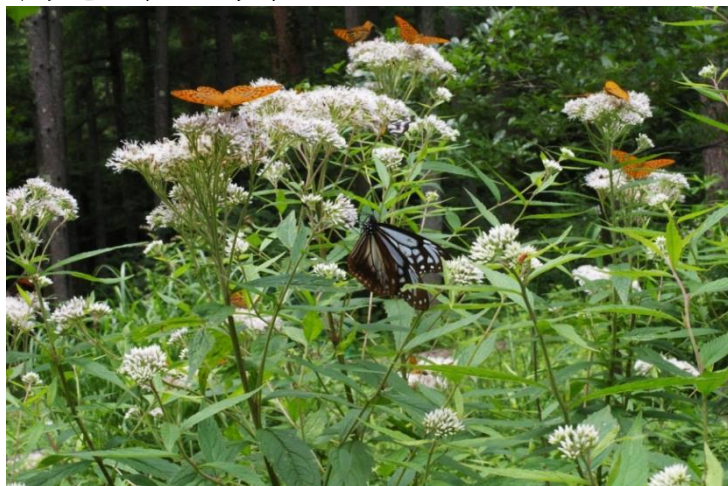


2. ブルーベリーを学習花壇で味見することができます。

ブルーベリー



3. ヨツバヒヨドリとアサギマダラ



ヨツバヒヨドリの花にはたくさんのチョウが蜜を求めてやってきます。大きなチョウはアサギマダラ、小さなチョウはヒョウモンチョウの仲間です。

アサギマダラは自然の家では5月ごろから9月下旬から10月ごろまで観察できます。秋に遠く南西諸島や台湾まで集団で渡り、一日に約200kmもの旅をすることがマーキング調査で分かってきました。何のためにそのような渡りをするのか、まだよくわかっていません。

9月の植物観察

花の季節を締めくくる秋の花が涼風の中で咲き、早くも木の実や葉が色付き始めます。

9月～10月の野外活動は**スズメバチに注意**が必要です。黒い服を避ける事、ハチが近くに來たら振り払わず、静かにその場を離れることが必要です。

1. 9月に咲く花や実

ホトトギス



オミナエシ



ヤマトリカブト 毒



アキノキリンソウ



ユウガギク



ヤクシソウ



ツリバナ



フジアザミ



ヤマボウシ



ナナカマド



※ヤマボウシの実我真つ赤に熟れると美味しいです。ぜひ味わってみてください。実を食べにスズメバチが来ていることもあるので注意してください。

2. 秋の七草の観察

【秋の七草】

ハギ・キキョウ・クズ・フジバカマ・オミナエシ
オバナ（ススキ）・ナデシコ

自然の家にはないのはフジバカマです。
よく似た仲間の植物にサワヒヨドリやヨツバヒヨドリ
があります。



3. 種の観察

くさむらを歩くとチクチクした草の種がズボンについたり、風に乗って綿毛のある種がフワフワ飛ぶ種の季節になります。それぞれの種の形を観察すると面白いですよ。

風利用 綿毛 →フジアザミ・ユウガギク・ヤクシソウなど

プロペラ →カエデの仲間

(プロペラが熟すと2つに分かれます。実際に種を飛ばしてみてください。)

つばさ →アカマツ・カラマツなど

(乾燥時、松ぼっくりが開き、種についたつばさで遠くへ運ばれます。)

自分ではじける →タチフウロ・ゲンノショウコ

ふりまく →キキョウ・オオマツヨイグサ

(丈夫な枯れ枝についた種のさやが揺れることで周囲に種がふりまかれます。)

動物の体に付着散布→ヌスビトハギ・キンミズヒキ

(動物の体に付着しやすいユニークな形をしています。)

動物の貯食を利用 →クリ (リス・ノネズミ)

→ドンクリのなる木 (リス・カケス)

イロハモミジの紅葉と種



ノハラアザミの種



キキョウの種



タチフウロの種



4. 雨の後はキノコがニョキニョキ！

夏の終わりごろから沢山のキノコが生えてきます。キノコ狩りの季節です。キノコは植物ではなくカビなどと同じ菌類です。光合成をせず有機物を分解して養分としています。自然界では分解者としての大切な役割を果たしています。大切にしましょう。毒キノコや食用にならないものも沢山あり、素人判断で食べるのはやめましょう。

カラカサタケ



タマゴタケ



カラムツの黄葉と編笠山



10月の植物観察

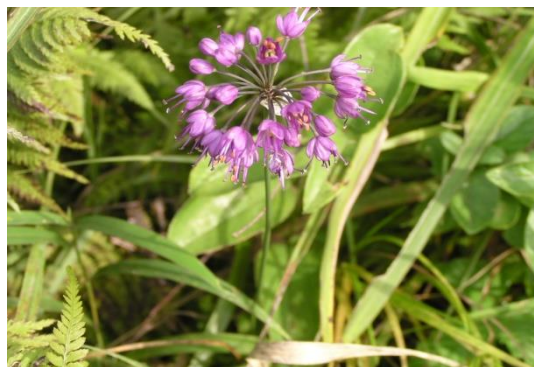
カラムツの森は黄金色に黄葉し、赤や黄色に紅葉が始まります。
自然の家の花暦では最後にリンドウやヤマラッキョウの花が咲きます。
きれいな落ち葉やクリやドングリなどを拾ってお土産にしても楽しいです。

1. 10月に咲く花

リンドウ



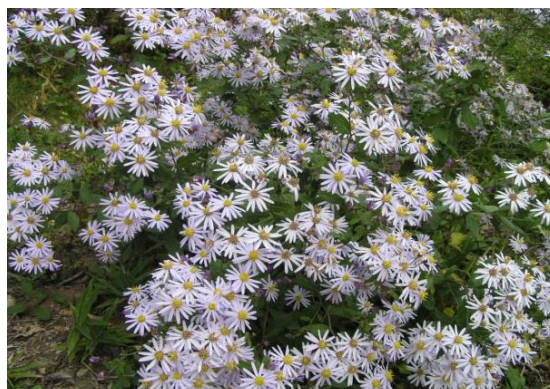
ヤマラッキョウ



アキノキリンソウ



ノコンギク



クリの実



アブラチャンの実



3. 紅葉した葉の色や観察する。

ニシキギ



ヤマボウシ



アケビの実



コブシの実



ハウチワカエデ



モミジの仲間



オカトラノオ



ムラサキシキブ



2. カツラの落ち葉の香りを楽しむ。

秋にカツラの葉が黄色く色付くころ、その落ち葉を踏むと美味しそうな香りがします。ちょうどお砂糖を焦がした綿あめの匂いに似ています。風に乗って遠くから香りが漂ってくることもあります。ぜひ香りを楽しんでください。

3. ドングリ拾い

自然の家にあるドングリのなる木はミズナラとコナラの2種類あります。ミズナラは川崎には生育しない標高の高いところの木でドングリも大きいです。コナラはそれよりも小さく、川崎にもあります。川崎でよく見かけるマテバシイやクヌギは自然の家は寒すぎて生育しません。

4. センブリを味わってみよう！

薬草のセンブリがこの時期に咲きます。白くて小さい目立たない花です。葉を少しだけかじってみると、目が覚めるほど苦くていかにも胃のお薬になりそうな味がします。

センブリ



1 1月～3月の植物観察

1 1月上旬には紅葉も終わり、森はすっかり冬の姿になります。学習花壇では秋の残り花がわずかに咲き、種を付けた植物がカサカサとドライフラワーになっています。静かな冬の森では寒さに耐えながら春に向けて植物が準備している姿を観察することができます。葉がすっかり落ちた木には使い古しの鳥の巣やガのマユなども見つかります。植物の冬越しの姿をいろいろ観察してみましよう。

1. 冬芽の観察

来春に開く葉や花をぎゅっと折りたたみ、寒さに耐えられるような衣を着て枝先についているのが冬芽です。葉が落ちた跡に水や養分が通っていた穴の跡（葉痕ようこん）と合わせて面白い形を見ることができます。

クルミ



コブシ



コシアブラ



ホオノキ



トチノキ



ヤマツツジ



2. ロゼットの観察

ナズナやヒメジョオンなどの冬も枯れずに年を越す植物（多年草や越年草）は根元の葉が放射状に広がり、バラの花のような形になり冬越しをします。これをロゼットといいます。

イヌナズナ



ヒメジョオン



オオマツヨイグサ



3. いろいろな形で冬越しをする植物たち

地上部分が枯れてしまう植物が多い中で、冬も緑のまま冬を越す植物を見つけましょう。たくましい生命力に驚かされます。

フキノトウ



タチツボスミレ



フデリンドウ



アセビ



4. 冬の森で面白いもの見つけたよ！

葉をすっかり落とした木にはそれを利用していた昆虫や鳥,寄生植物などを見ることができます。

クスサンのマユ



ヤドリギ



スズメバチの古巣



鳥の古巣

